



ロングライフな環境により家具が暮らしと人生を豊にします。

有限会社前橋奈良ファニチャー

前橋市



- ▶ 代表者: 奈良 利夫
- ▶ 設立年月日: 1972年7月5日
- ▶ 資本金: 400万円
- ▶ 従業員数: 9人
- ▶ 住所: 前橋市飯土井町692-2
- ▶ TEL: 027-268-5730
- ▶ Mail: info@rooming-plus.com
- ▶ URL: http://www.rooming-plus.com

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

創業当初は家具産地群馬のメーカーとしてスタート。その後日本の住宅環境の変化により家具商社に業態変換、国内主要家具産地の家具を販売。現在は国内外のブランド家具を中心にインテリアSHOPとして、家具販売だけでなく個人から法人（旅館、オフィス、施設）の空間プロデュースやSDGsに取り組んでいます。



インテリアSHOP
Rooming+
STYLISH

経緯・背景

創業50年を迎え、伝統ある家具産地での創業した当社としては、消えゆく産地の証を地産地消の家具で実証したい思いと、ライフワークバランス、健康寿命、働き方改革への重要コンテンツに家具（椅子）の役割があることを確信する中、とても群馬愛の強い企業の新築工場の空間プロデュースのオファーをいただきました。思い切って私の思いとSDGsへの実現による未来へのビジョンをご提案したところ快諾をいただきました。県が目指す未来都市、林業を中心とした森林資源の活用と家具産地（文化）復興の第一歩です。

具体的な取組

家具製造にあたり県から広葉樹のシオジ材の存在を教えていただき、上野村森林組合の貴重なシオジ材を活用しました。家具製造は笠懸町の（有）シー・アンド・シーに依頼。家具デザインはメイン設置場所である従業員食堂の間取りや内装、使用者の体格を考慮し素材特性とデザインをマッチさせました。椅子108脚、テーブル16台。無機質な空間の工場で働く社員様を、昼食のひとつ、心地よい木の香りの手触りの気持ちいいテーブルと体をゆったりサポートしてくれる椅子が楽しい時間になります。オール群馬の顔の見えるものづくり、毎日使う家具だからこそ環境の大切さを忘れません。



成果・効果

- ① 家具産地群馬として復興できる証の一步となり、県土の67%が森林資源の県が目指す未来都市森林資源の活用と家具販売が繋がりました。
- ② 県内広葉樹の地理的状況把握の必要性を知り、地元林業の雇用の関心が深まりました。
- ③ 携帯サイトのNEWSになり住宅、造園、施設、オフィス、木育関係者のSDGsコラボの問い合わせが増加しました。
- ④ 企業様からコミュニケーション環境が良くなり理念浸透と高評価。
- ⑤ エコパークみなかみ町と繋がりました。
- ⑥ 民間の取組として、群馬をブランド化するロゴ、群馬千鳥推進協議会が発足しました。



当社にとってのSDGsと、その展望

かつて家具産地である群馬は地元森林資源を活用し、林業から雇用や産業を創出して家具を製造販売してきました。家具は、食べる、くつろぐ、寝る、育てる等人の暮らしや座る仕事をする際、生活に不可欠な暮らしの道具。心身を快適にする暮らしのサポーターでもあります。群馬はかつて家具産地であった時、間違いなくSDGs実現にむかっていた。再度資源活用し家具産地のイノベーションを！具体的には1本の木の特徴を大切に見極め適材適所から、住宅⇒家具⇒小物おもちゃ楽器⇒楊枝⇒バイオマスへの無駄のない活用管理とすべて群馬ブランドとして販売からデザインしていくことが持続可能な条件。オール群馬の木質家具を採用した空間はSDGs8項目に貢献し企業価値を高めることを県内にアピールし森林資源の出口ビジネスモデル挑戦。